

2024年2月2日
真鶴町長 小林 伸行

各種研修の実施について

このたび真鶴町(町長 小林 伸行)は、2種類の研修を実施します。いずれも真鶴町政の方向性を示す象徴的な研修となっております。どの研修も、取材は歓迎しますが、講演が終わって質疑応答に入りましたら、職員が自由に発言できるよう、ご退席頂く形になることをご了承ください。

(1) 管理職向けDX研修 ※別紙1参照

青森市CIO補佐官、佐賀県情報企画監、大阪府・市特別参与を歴任された廉 宗淳氏を招いて管理職を対象としたDX研修を実施します。

(2) 町民・職員向けオープンデータ研修 ※別紙2参照

他自治体の職員・議員向けに研修やDXコンサルティングを行ってきた現町長が、町政運営の大きな軸となるオープンガバメントやオープンデータの考え方を町民にお伝えし、職員に徹底するために、2月16日(金)に町民センター3階の講義室にて、全4回の研修を実施します。

- ①10:00~12:00 職員対象1回目 ②13:00~15:00 管理職対象
③15:00~17:00 職員対象2回目 ④18:00~20:00 町民対象

なお、上記に関連して2月22日(木)~24日(土)の3日間の日程で政策推進課の職員1名を海外視察に送り出します。マイナンバー制度やデジタル田園都市など国も動きを強める中、国連の電子政府ランキングで世界一位に輝いた韓国にて廉 宗淳氏のナビゲートの下、最先端の自治体DXを学びます。

昨今、政治家の海外視察についての批判が多い中ではありますが、職員の能力に投資し、最新の知見を採り入れた行政経営をする姿勢を内外に示すためにも、臆せず職員派遣するものです。

今後も、真鶴町は小さくともキラリと光るスマートタウンを目指し取り組みを重ねて参ります。

お問い合わせ先

研修担当：総務防災課長 青木 一広 電話：0465-68-1131 内線 320



2024年1月23日

課長及び課長補佐各位

真鶴町長 小林伸行

管理職向け DX 研修のお知らせ

DX の重要性が巷間叫ばれています。とりわけ、人員不足であり経験の乏しい職員の多い真鶴町役場において、DX 推進は喫緊の課題だと考えています。しかし、日本の特に行政機関のDXは遅々として進んでいない実態もあります。なぜ行政DXはうまくいかないのか。

私はDXにおいて、より重要なのはDではなくXだと考えています。つまり、デジタル化やICT活用を進めるより先に、業務の見直しと仕事のやり方をごっそり再構築することが重要だと思うのです。この観点では、職員の意識改革が必要です。いま行っている業務は本当に必要なのか？ 必要ならやり方は本当にこれでいいのか？ 抜本的に根本から見つめ直すことが大事です。そして、私がDXコンサルティング会社のお手伝いをしていた際によく目にしたのは、若手のDX提案をつぶす管理職の姿でした。ですから、研修は先ず管理職から始めるのが正解、というのが定石です。この辺りを掛け違う自治体が多い。

そこで今回、小林の10年来の師であり政策顧問である廉宗淳(ヨム ジョンスン)先生を真鶴にお招きし、DX研修を実施することとしました。小手先のDXの前に、DXの考え方や勘所をじっくり指導頂きます。少なくともあと3年半は町長が替わりませんので、民意を受けた現町長がどういった考え方に基づいて町役場を管理職の皆さんと一緒に動かそうとしているのか、同じ目線を持って頂きたいのです。ですから、必修です。

敢えて一般職員は交えず管理職のみを対象としていますので、質問を恥ずかしいと思わず積極的に発言し、要諦を吸収して頂ければと思います。

記

- ・日 時：2024年2月15日(木) 15:00~17:00
- ・場 所：町役場3F
- ・準備物：不要(ただし回覧する日経ビジネスの特集部分を事前に読了のこと)

廉宗淳(ヨム ジョンスン)先生

e-CORPORATION.JP 代表取締役社長
明治大学専門職大学院 兼任講師(電子政府分野)
韓国ソウル市の公務員を経て1993年に来日。聖路加国際病院
ITアドバイザー、青森市情報政策調整監(CIO補佐官)、佐賀
県統括本部情報課情報企画監、大阪府・大阪市特別参与(IT担
当)、パシフィックコンサルタンツ ITアドバイザー、佐賀県
多久市 ITアドバイザー等を歴任。学術博士(Ph.D)



※終了後17:30~廉先生を囲んで、らーめん真で懇親会を開催します。奮ってご一緒下さい。会費3,000円です。

※翌2月16日(金)15:00~17:00には、町長による管理職向けDX関連研修も実施します。同じく必修です。

以上

真鶴キッズ倶楽部 新規募集

町では、校内教室を利用して真鶴キッズ倶楽部（学童保育）を開設しています。

◇対象者

2024年度の小学1～6年生で家庭での保育が困難と町が認める児童

◇入所期間

祝日・年末年始を除く月～金曜日（行事などにより、保育できない日もあります。）

◇入所時間

小学校の放課後～午後6時まで（夏休み・冬休み中は午前8時30分～午後6時まで）

◇費用（保育料）

月額6000円
（別途おやつ代が必要）

◇募集受付期間

2月1日（木）～15日（木）

【平日】

午前8時30分～午後5時15分
（正午～午後1時は除く）

◇申込方法

福祉課で配布の申込書などに必要事項をご記入のうえ、就労証明書（※）とあわせて提出してください。

※2024年度保育所新規・継続申込で提出済みの場合、申し出により省略できます。

◇その他

※現在、真鶴キッズ倶楽部を利用中で2024年度も継続して利用したい方については、町から通知しますので、申込書などを福祉課へ提出してください。提出がない場合、入所はできません。

■問い合わせ

福祉課 ☎内線233

農業者年金に 加入しませんか

農業者年金は、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図ることなどを目的とした農業者のため

の年金です。国民年金（基礎年金）の上乗せとなり、サラリーマンの厚生年金に該当する位置付けとなっています。

平成14年に制度が改正され、全く新しい制度になりました。農業者の皆さん、将来に備え、農業者年金に加入しませんか。

◆加入要件

次のすべての条件を満たす方であれば、どなたでも加入することができます。

- ① 60歳未満の方
- ② 国民年金1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事する方

◆制度の特徴

① 少子高齢化時代に強い年金です
積み立て方式（確定拠

出型）の年金のため、加入者や受給者の数に左右されない、長期的に安定した制度となっています。

② 保険料の額は自由に決められます

月額2万円から6万7000円まで、千円単位で自由に決められます。金額の変更も自由です。

③ 80歳までの保障が付いた終身年金です

年金は生涯受給できます。また、仮に80歳前に亡くなった場合でも、80歳までに受け取るはずの額の現在価値に相当する額を死亡一時金として遺族が受け取ることができます。

■問い合わせ

真鶴町農業委員会
（産業観光課）
☎内線332

オープンデータセミナー を開催します

オープンデータとは、誰でも許可されたルールの範囲内で自由に複製・加工や頒布などができるデータを言います。

オープンデータと聞くと難しく感じるかもしれ

ませんが、実は私たちの生活を支える基盤に既になっています。

本講演では、オープンデータの現状やその活用方法などについて、町民の皆様にも町長自ら丁寧に説明します。

オープンデータで町がどう変わるのか。どんなビジネスチャンスが生まれるのか。是非ご参加ください。

◇日時

2月16日（金）
午後6時から午後8時

◇場所

真鶴町民センター3階
講義室

◇対象

町内在住・在勤

◇講師

真鶴町長 小林 伸行

◇テーマ

オープンデータで変わる行政

◇申し込み 不要

■問い合わせ

政策推進課
☎内線311